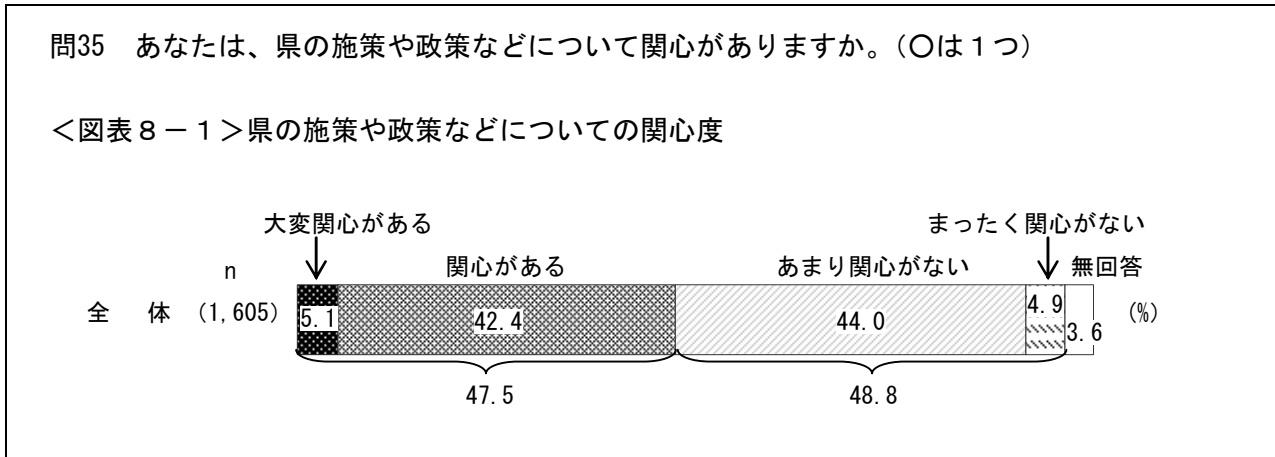


8 広報・広聴活動について

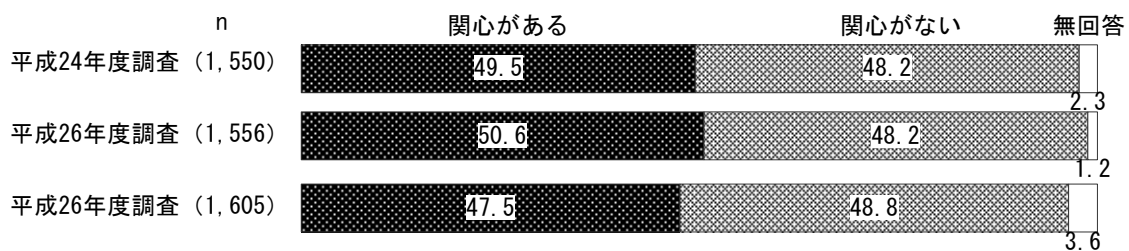
(1) 県の施策や政策などについての関心度

◇『関心がある』は約5割



県の施策や政策などについての関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(5.1%)と「関心がある」(42.4%)を合わせた『関心がある』(47.5%)は約5割となっている。一方、「あまり関心がない」(44.0%)と「まったく関心がない」(4.9%)を合わせた『関心がない』(48.8%)も約5割となっている。(図表8-1)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



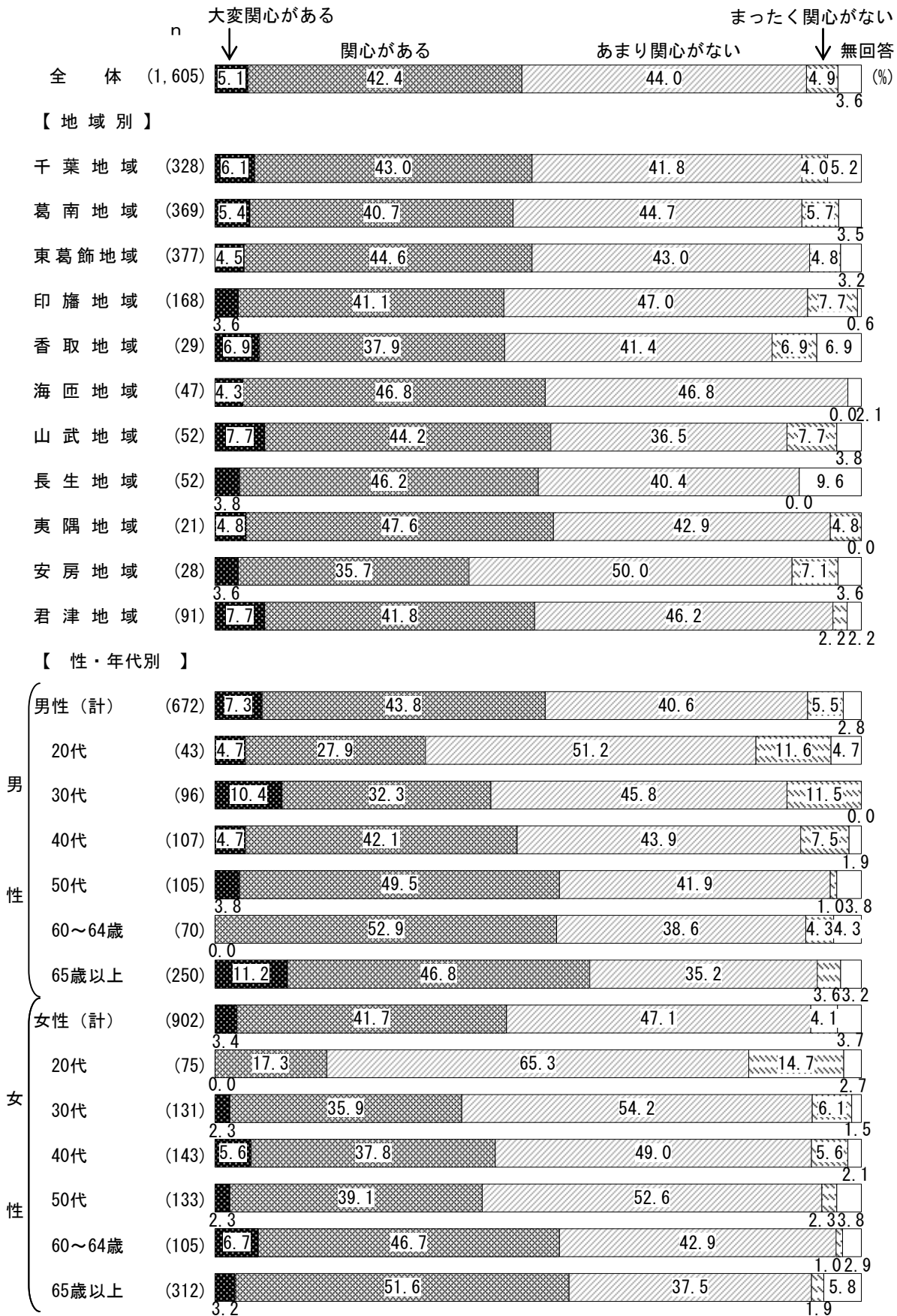
【地域別】

地域別にみると、『関心がある』は“夷隅地域”(52.4%)、“山武地域”(51.9%)、“海匠地域”(51.1%)、“長生地域”(50.0%)が5割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表8-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある』は男性の65歳以上(58.0%)が約6割、女性の65歳以上(54.8%)、女性の60~64歳(53.3%)、男性の50代(53.3%)、男性の60~64歳(52.9%)が5割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表8-2)

<図表8-2> 県の施策や政策などについての関心度/地域別、性・年代別

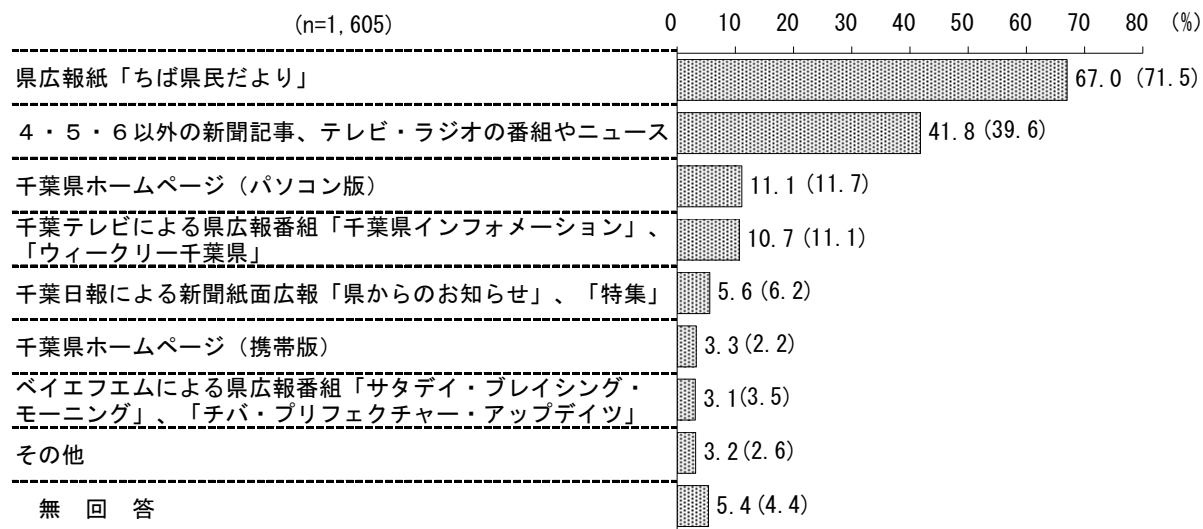


(2) 県政に関する情報を得る手段

◇「県広報紙『ちば県民だより』」が約7割

問36 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。(○はいくつでも)

<図表8-3> 県政に関する情報を得る手段 (複数回答)



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県広報紙『ちば県民だより』」(67.0%)が約7割で最も高く、以下、「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」(41.8%)、「千葉県ホームページ (パソコン版)」(11.1%)、「千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」」(10.7%)と続いている。(図表8-3)

(※「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、4・5・6とは、『千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集』、『千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県』、『ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・ブレイジング・モーニング」、「チバ・プリフェクチャー・アップデート』を指す)

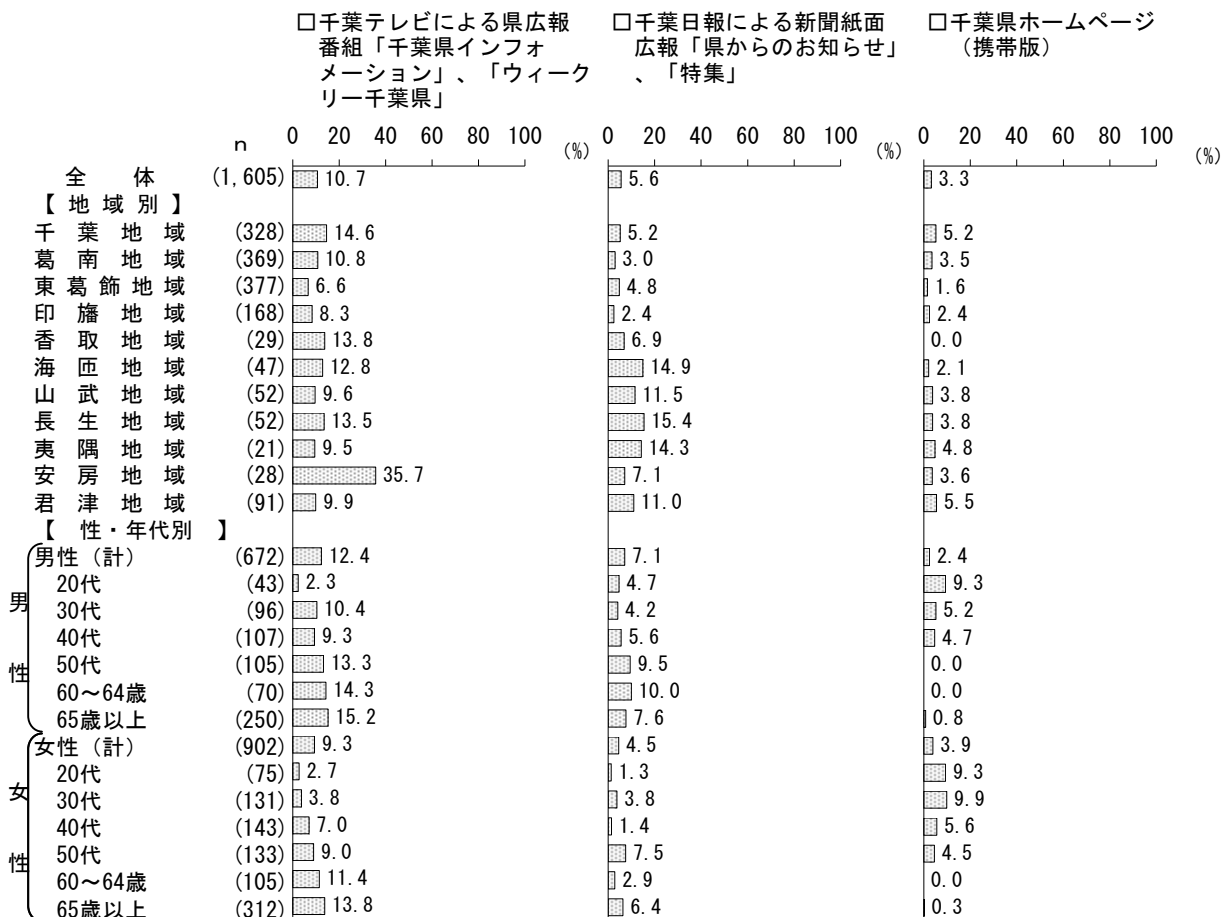
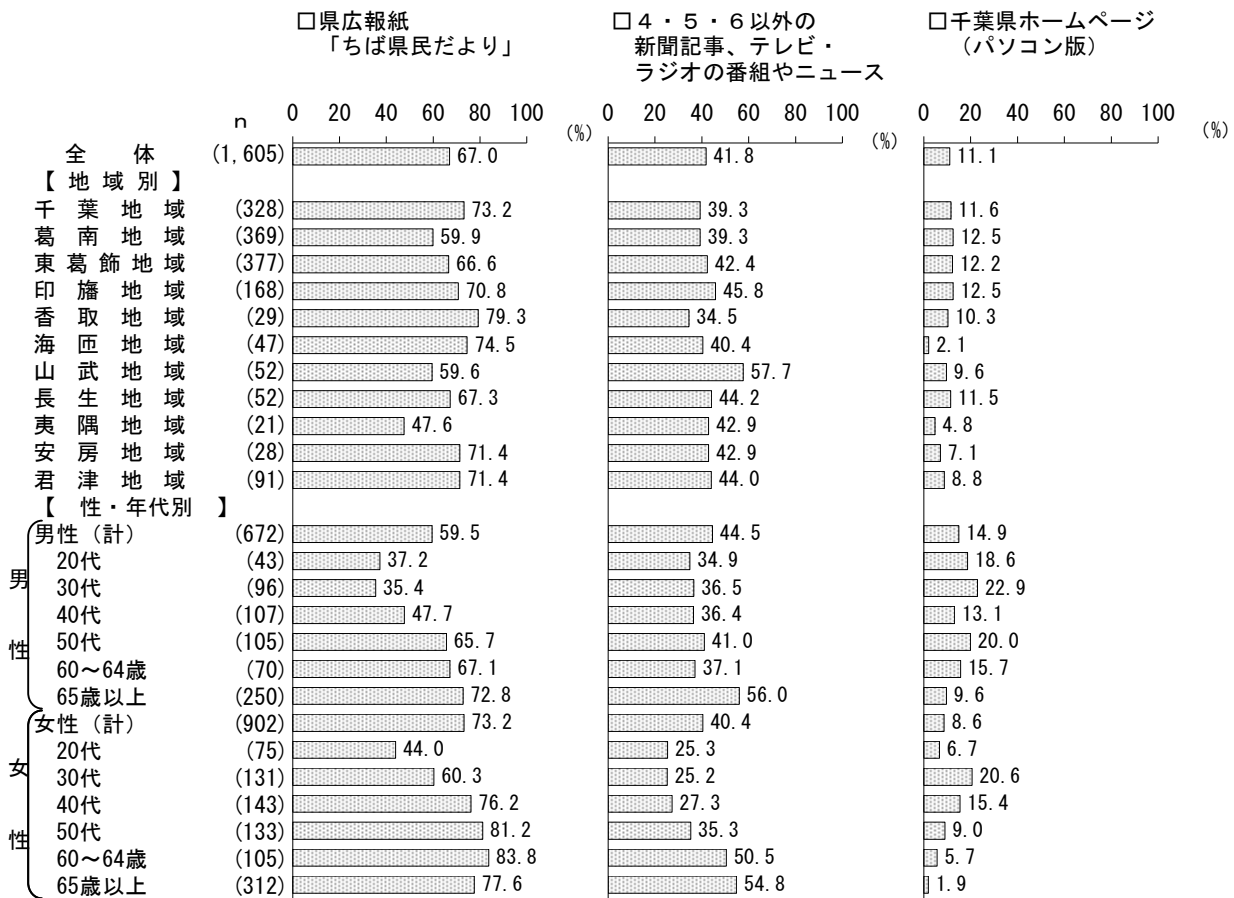
【地域別】

地域別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は“夷隅地域”(47.6%)以外の全ての地域で約6割から7割となっている。「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は“山武地域”(57.7%)が約6割と他の地域に比べて高くなっている。(図表8-4)

【性・年代別】

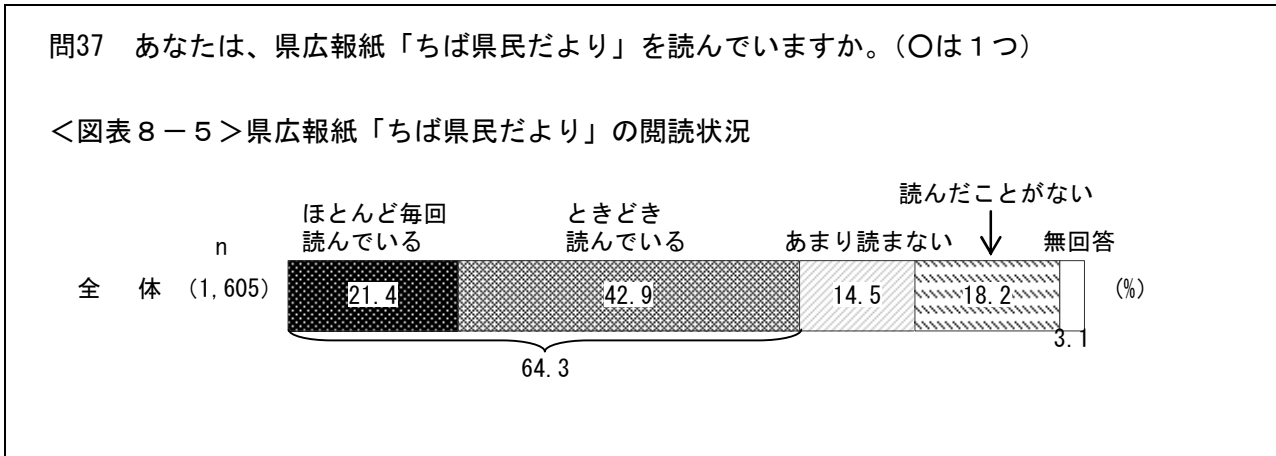
性・年代別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は男女ともにおおむね年代が上がるほど高くなる傾向にある。「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は男性の65歳以上(56.0%)、女性の65歳以上(54.8%)が5割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表8-4)

<図表8-4> 県政に関する情報を得る手段／地域別、性・年代別（上位6項目）



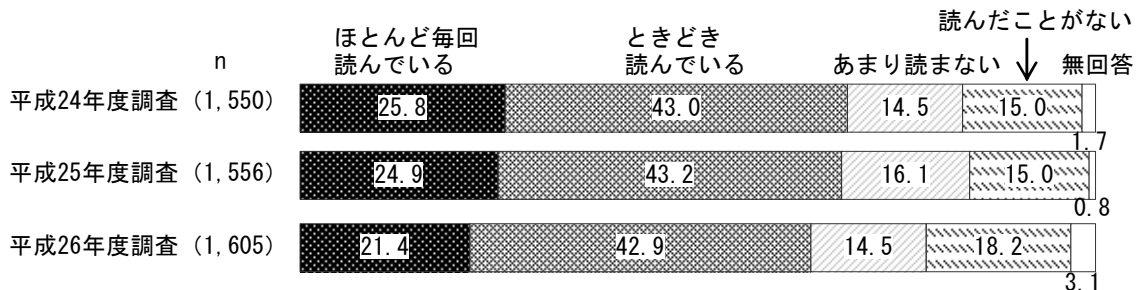
(3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

◇『読んでいる』は6割台半ば



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」(21.4%)は2割を超え、「ときどき読んでいる」(42.9%)は4割を超えている。これらを合わせた『読んでいる』(64.3%)は6割台半ばとなっており、一方、「あまり読まない」(14.5%)は1割台半ば、「読んだことがない」(18.2%)は約2割となっている。(図表8-5)

[参考] 平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



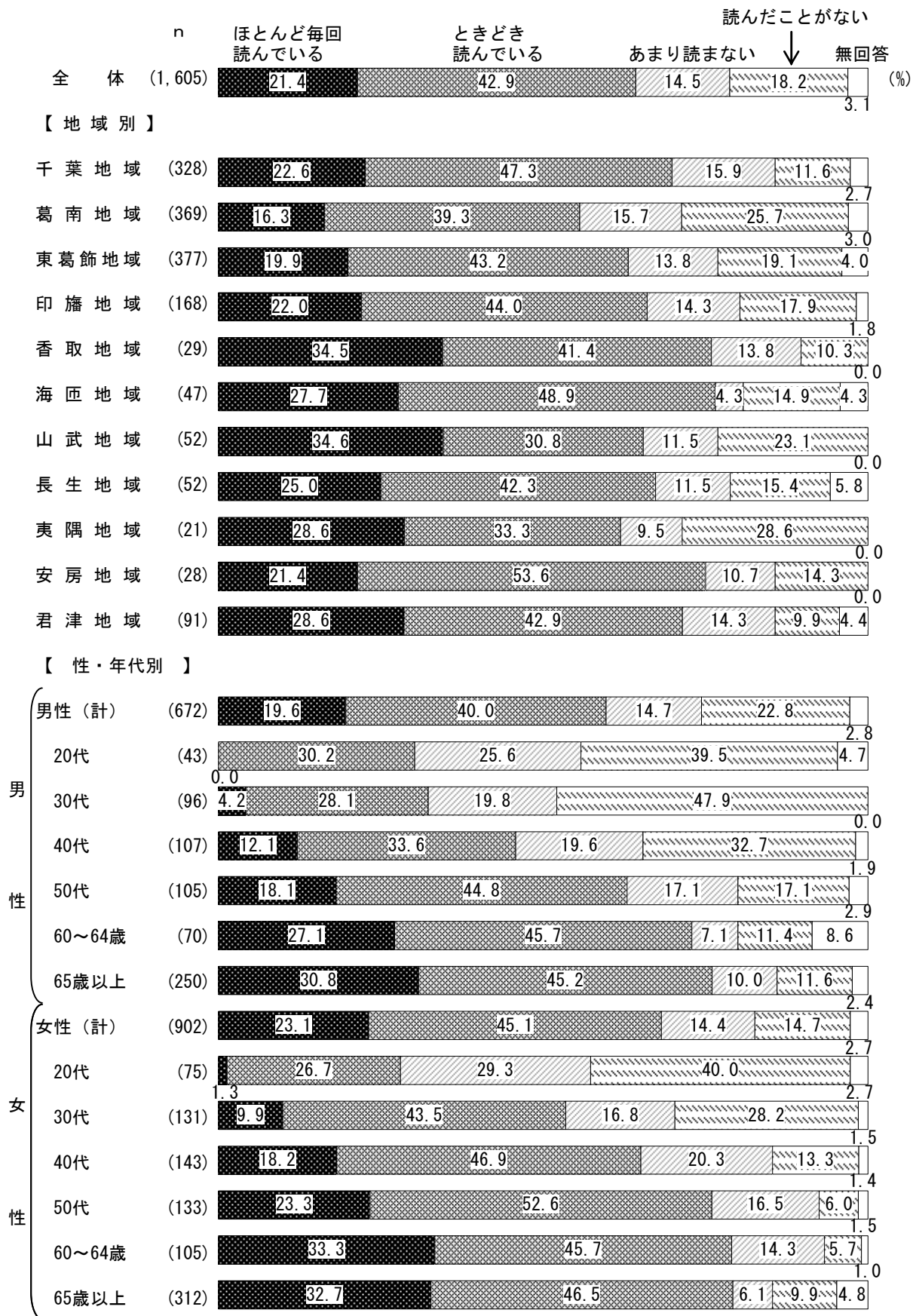
【地域別】

地域別にみると、『読んでいる』は“海匝地域”(76.6%)、“香取地域”(75.9%)、“安房地域”(75.0%)が7割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表8-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『読んでいる』は女性の65歳以上(79.2%)、女性の60~64歳(79.0%)が約8割、男性の65歳以上(76.0%)、女性の50代(75.9%)が7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、「読んだことがない」は男性の30代(47.9%)が約5割と他の年代に比べて高くなっている。(図表8-6)

<図表8-6> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況／地域別、性・年代別



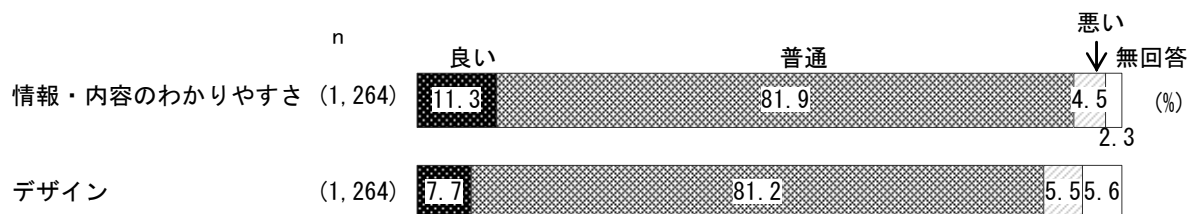
(3-1) 「ちば県民だより」の内容について

◇情報・内容のわかりやすさの「良い」は1割超え、デザインの「良い」は約1割

(問37で「ほとんど毎回読んでいる」「ときどき読んでいる」「あまり読まない」のいずれかをお答えの方に)

問37-1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。(〇はそれぞれ1つずつ)

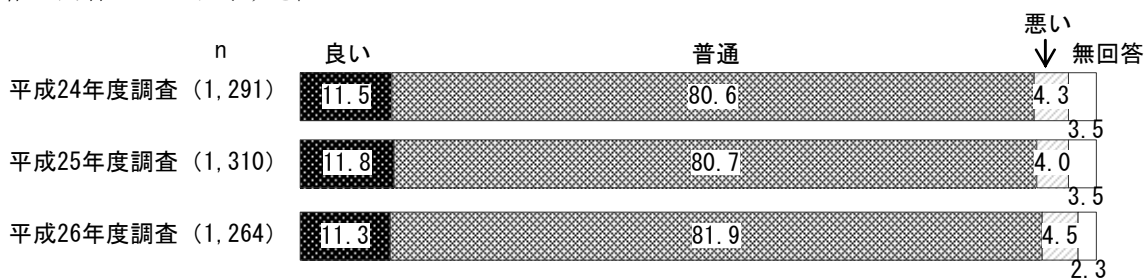
〈図表8-7〉「ちば県民だより」の内容について



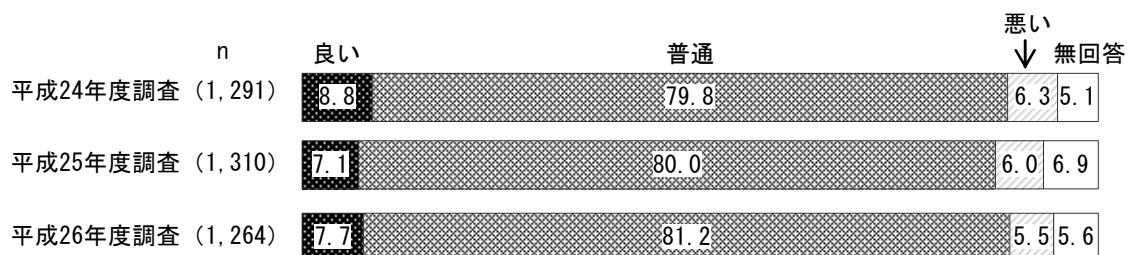
県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「あまり読まない」と回答した1,264人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」(11.3%)は1割を超え、「普通」(81.9%)は8割を超えている。〈デザイン〉において、「良い」(7.7%)は約1割で、「普通」(81.2%)は8割を超えている。(図表8-7)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

〈情報・内容のわかりやすさ〉



〈デザイン〉



【地域別】

地域別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」は“山武地域”（27.5%）が約3割、“君津地域”（19.2%）が約2割と他の地域に比べて高くなっているが、それ以外の地域では「普通」が8割から9割となっている。〈デザイン〉において、「普通」はすべての地域において7割から9割と高くなっている。（図表8－8）

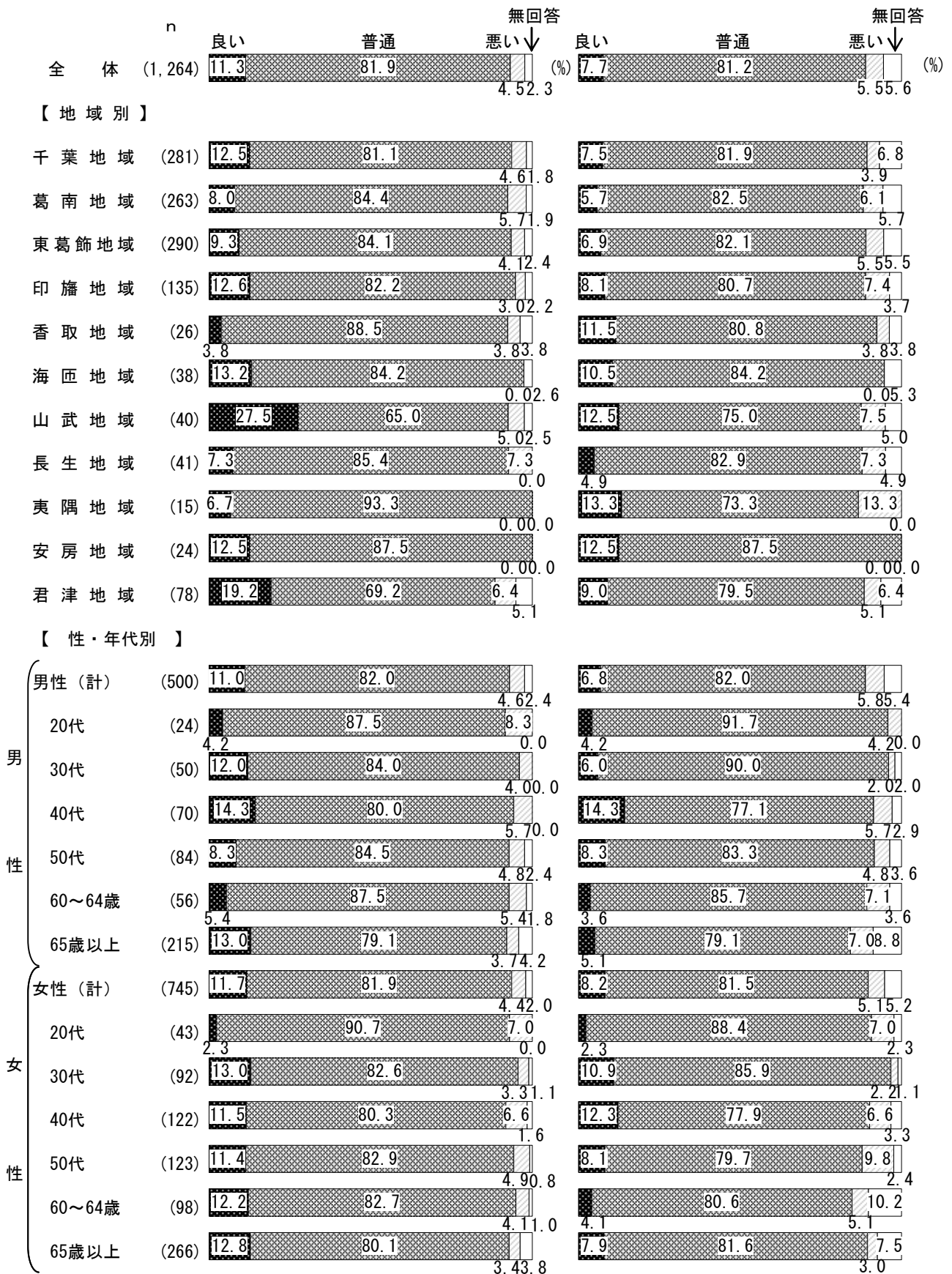
【性・年代別】

性・年代別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉、〈デザイン〉において、「良い」は高くても1割台半ばに留まり、「普通」はすべての性・年代において7割から9割と高くなっている。（図表8－8）

<図表8-8> 「ちば県民だより」の内容について／地域別、性・年代別

《情報・内容のわかりやすさ》

《デザイン》



(4) 千葉県ホームページの利用頻度

◇『利用している』は1割台半ば

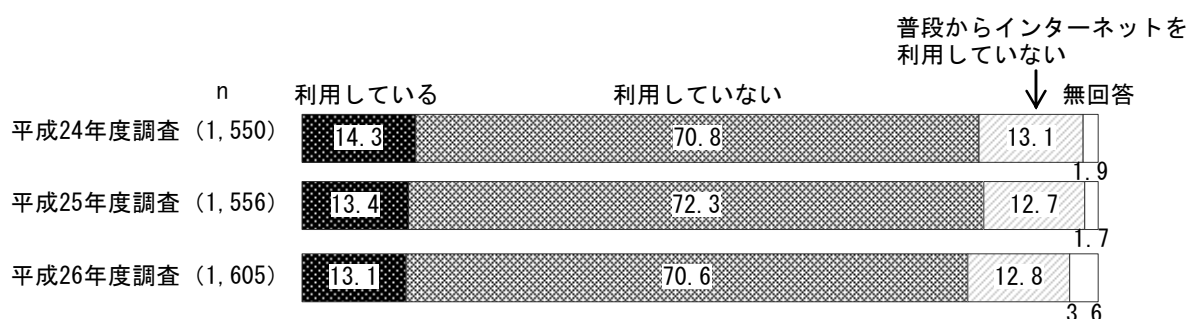
問38 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。(○は1つ)

<図表8-9>千葉県ホームページの利用頻度



千葉県ホームページの利用頻度を聞いたところ、「よく利用している」(1.0%)と「ときどき利用している」(12.1%)を合わせた『利用している』(13.1%)は1割台半ばとなっている。一方、「ほとんど利用しない」(15.8%)と「利用していない」(54.8%)を合わせた『利用していない』(70.6%)は7割となっている。(図表8-9)

【参考】平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



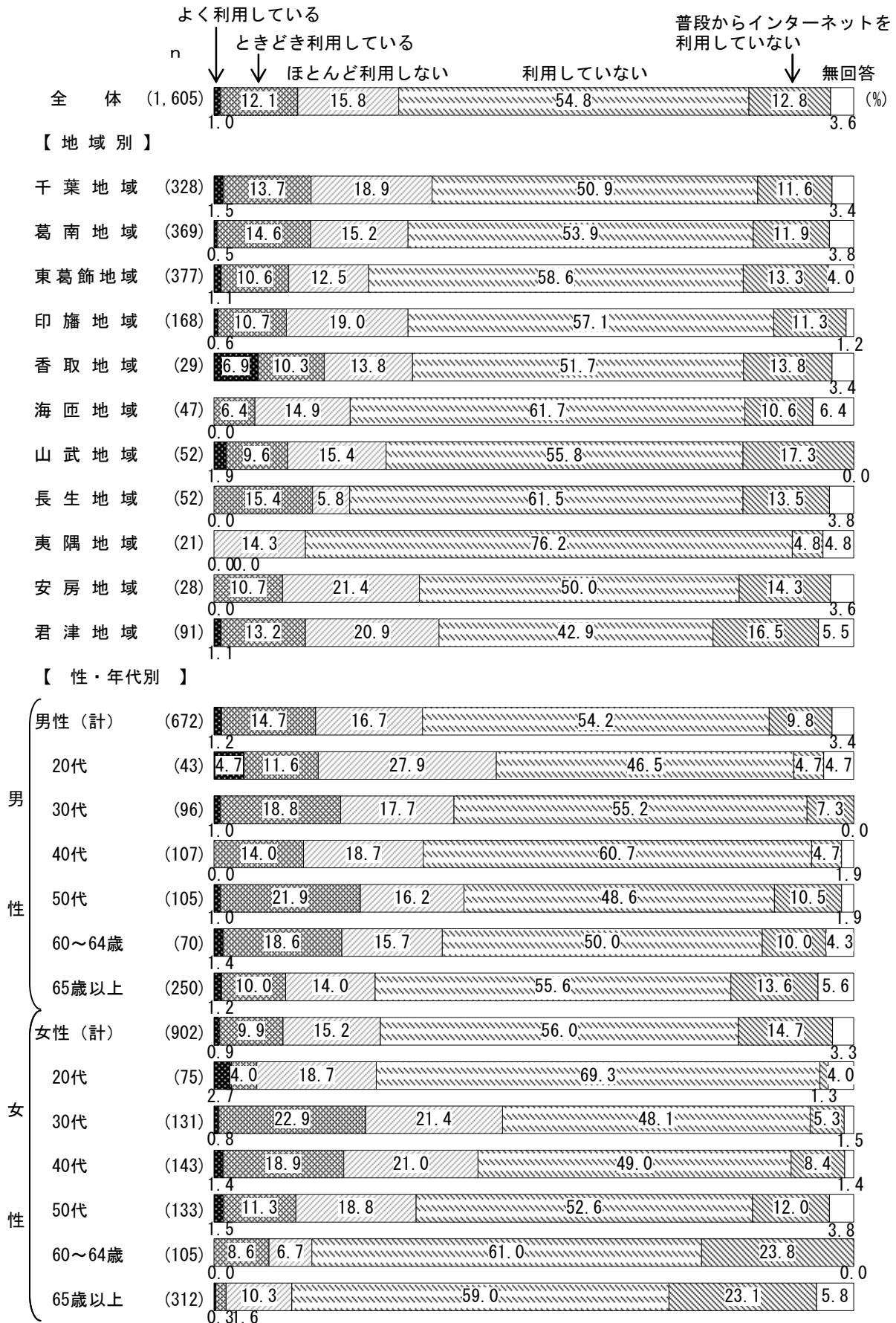
【地域別】

地域別にみると、『利用している』は“香取地域”(17.2%)が約2割と他の地域に比べて高くなっている。一方、『利用していない』は“夷隅地域”(90.5%)が9割となっている。(図表8-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用している』は女性の30代(23.7%)が2割台半ば、男性の50代(22.9%)が2割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表8-10)

<図表8-10>千葉県ホームページの利用頻度/地域別、性・年代別



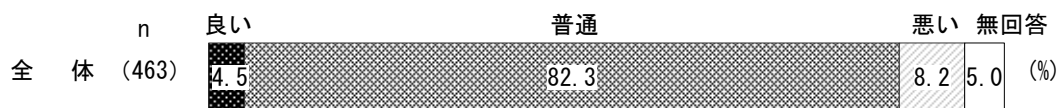
(4-1) 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ

◇情報・内容のわかりやすさが「普通」は8割を超える

(問38で「よく利用している」「ときどき利用している」「ほとんど利用しない」のいずれかをお答えの方に)

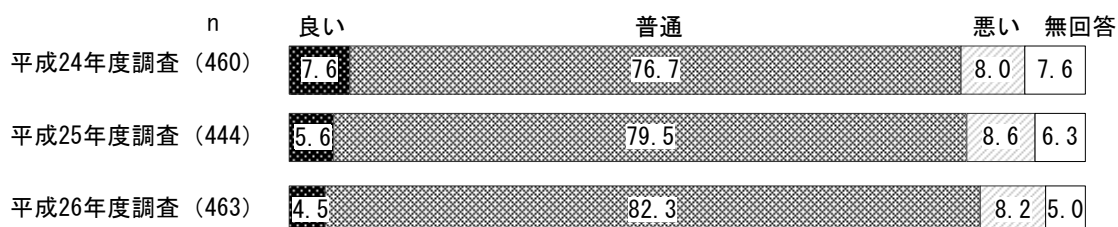
問38-1 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさはいかがですか。(○は1つ)

<図表8-11>千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ



千葉県ホームページを「よく利用している」、「ときどき利用している」、「ほとんど利用しない」と回答した463人を対象に、千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさについて聞いたところ、「良い」(4.5%)は1割に達せず、「普通」(82.3%)は8割を超え、「悪い」(8.2%)は約1割となっている。(図表8-11)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



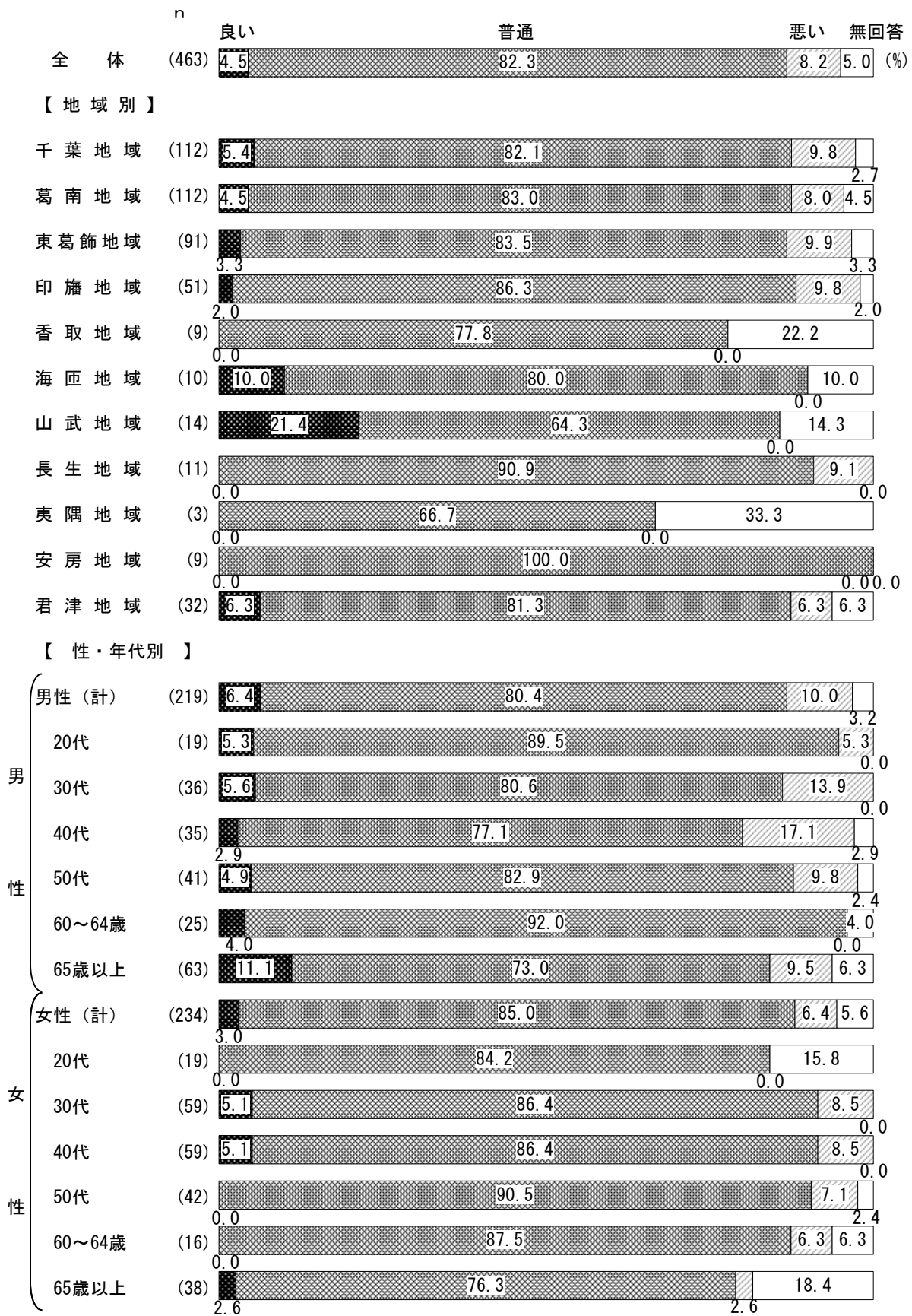
【地域別】

いずれの地域も「普通」が6割以上と高くなっている。(図表8-12)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「良い」は男性の65歳以上(11.1%)が1割を超えている。「普通」はいずれの年代でも7割から9割と高くなっている。(図表8-12)

<図表8-12>千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ／地域別、性・年代別

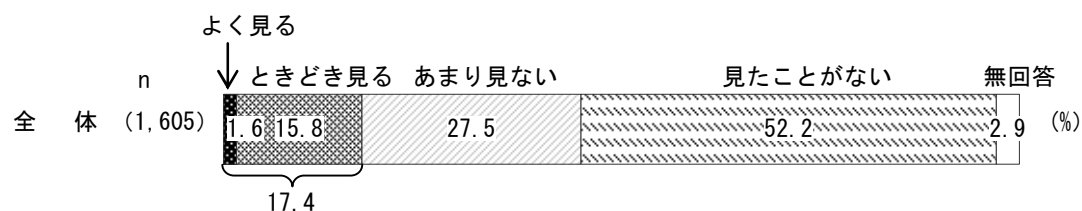


(5) 県の広報番組の視聴状況

◇『見る』は約2割

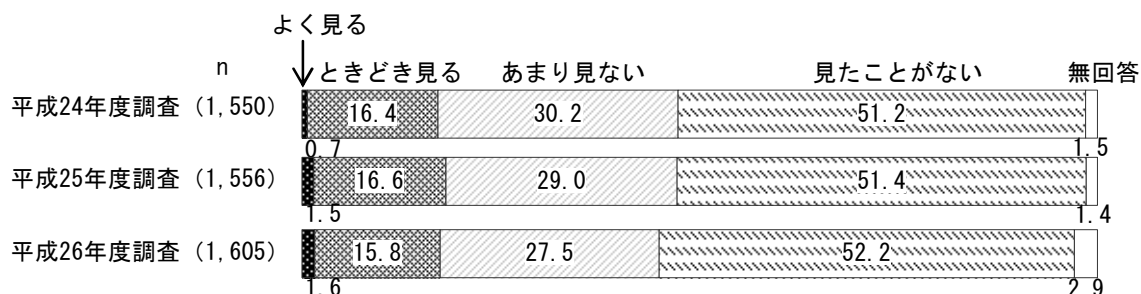
問39 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。(○は1つ)

<図表8-13> 県の広報番組の視聴状況



県の広報番組の視聴状況を聞いたところ、「よく見る」(1.6%)と「ときどき見る」(15.8%)を合わせた『見る』(17.4%)は約2割となっている。一方、「あまり見ない」(27.5%)は約3割で、「見たことがない」(52.2%)は5割を超えている。(図表8-13)

【参考】平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



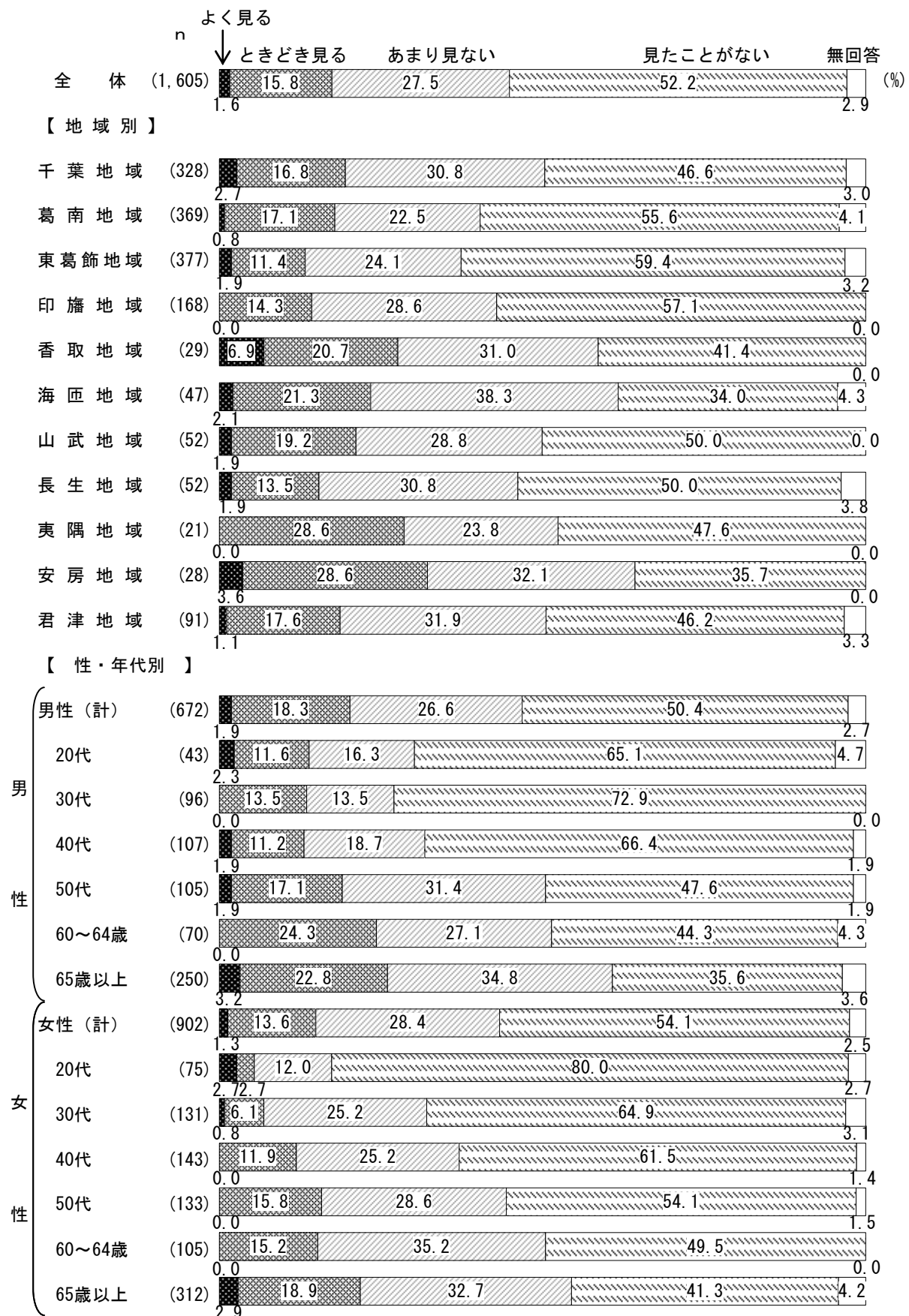
【地域別】

地域別にみると、『見る』は、“安房地域”(32.1%)が3割を超え、“夷隅地域”(28.6%)、“香取地域”(27.6%)が約3割と他の地域に比べて高くなっている。(図表8-14)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『見る』は男性の65歳以上(26.0%)、男性の60~64歳(24.3%)が2割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表8-14)

<図表8-14> 県の広報番組の視聴状況／地域別、性・年代別

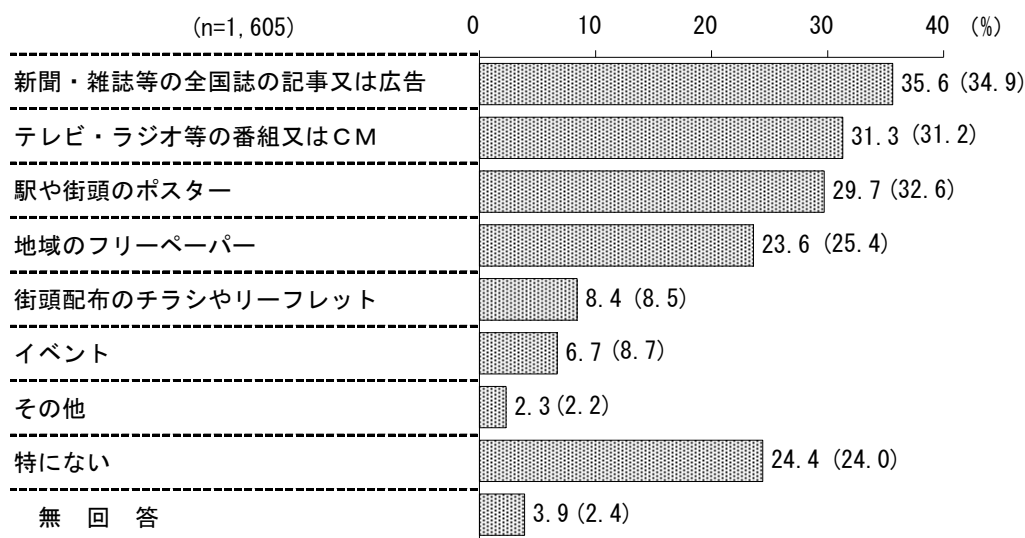


(6) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況

◇「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」が3割台半ば

問40 あなたは、県の広報紙や広報番組（問36の選択肢「1」～「6」に掲げるもの）以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。（〇はいくつでも）

<図表8-15> 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況（複数回答）



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n=1,556

県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況を聞いたところ、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」(35.6%)が3割台半ばで最も高くなっている。以下、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」(31.3%)、「駅や街頭のポスター」(29.7%)、「地域のフリーペーパー」(23.6%)が続いている。(図表8-15)

(※問36の選択肢「1」～「6」に掲げるものとは、『1 県広報紙「ちば県民だより」』、『2 千葉県ホームページ(パソコン版)』、『3 千葉県ホームページ(携帯版)』、『4 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」』、『5 千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」』、『6 ベイエフエムによる県広報番組「サタデイ・ブレッシング・モーニング」、「チバ・プリフェクチャー・アップデート」』を指す)

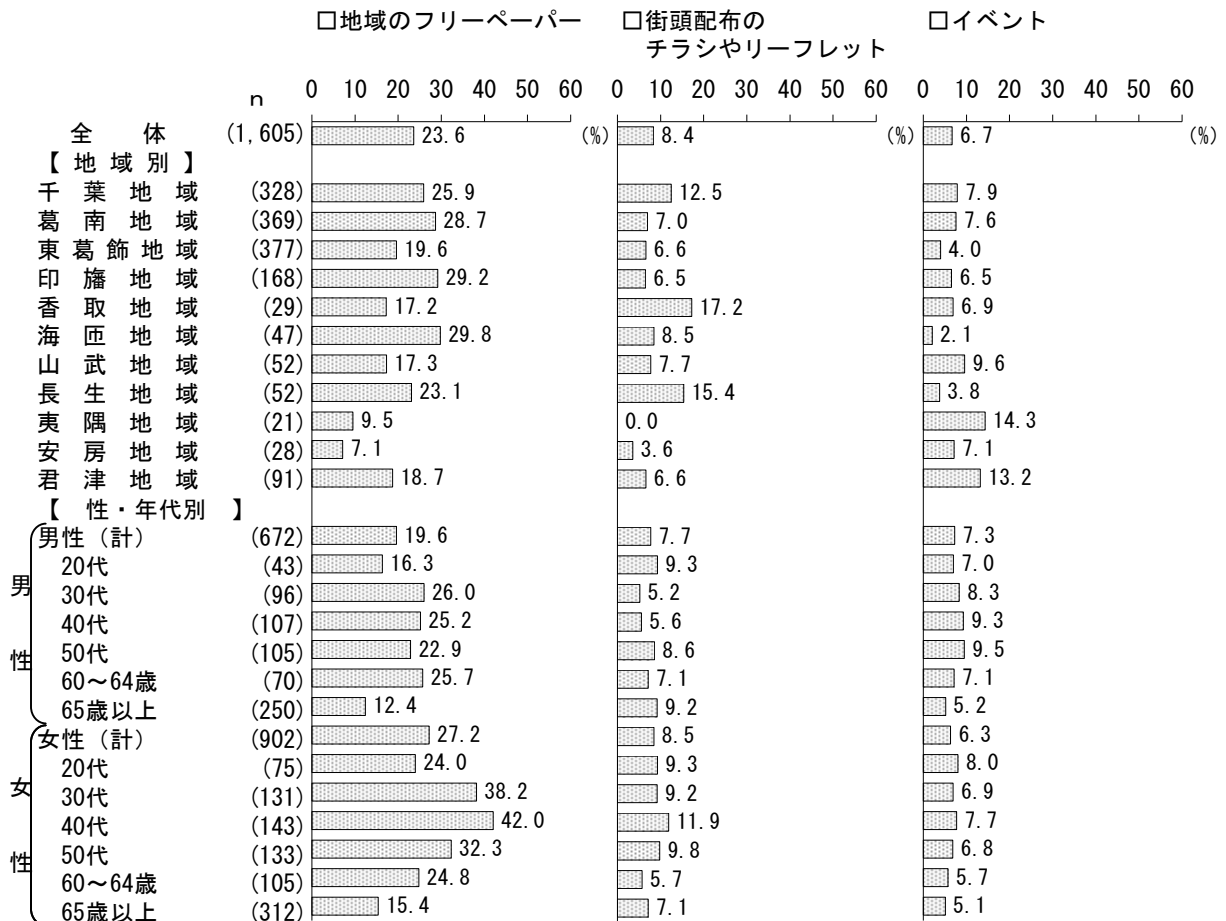
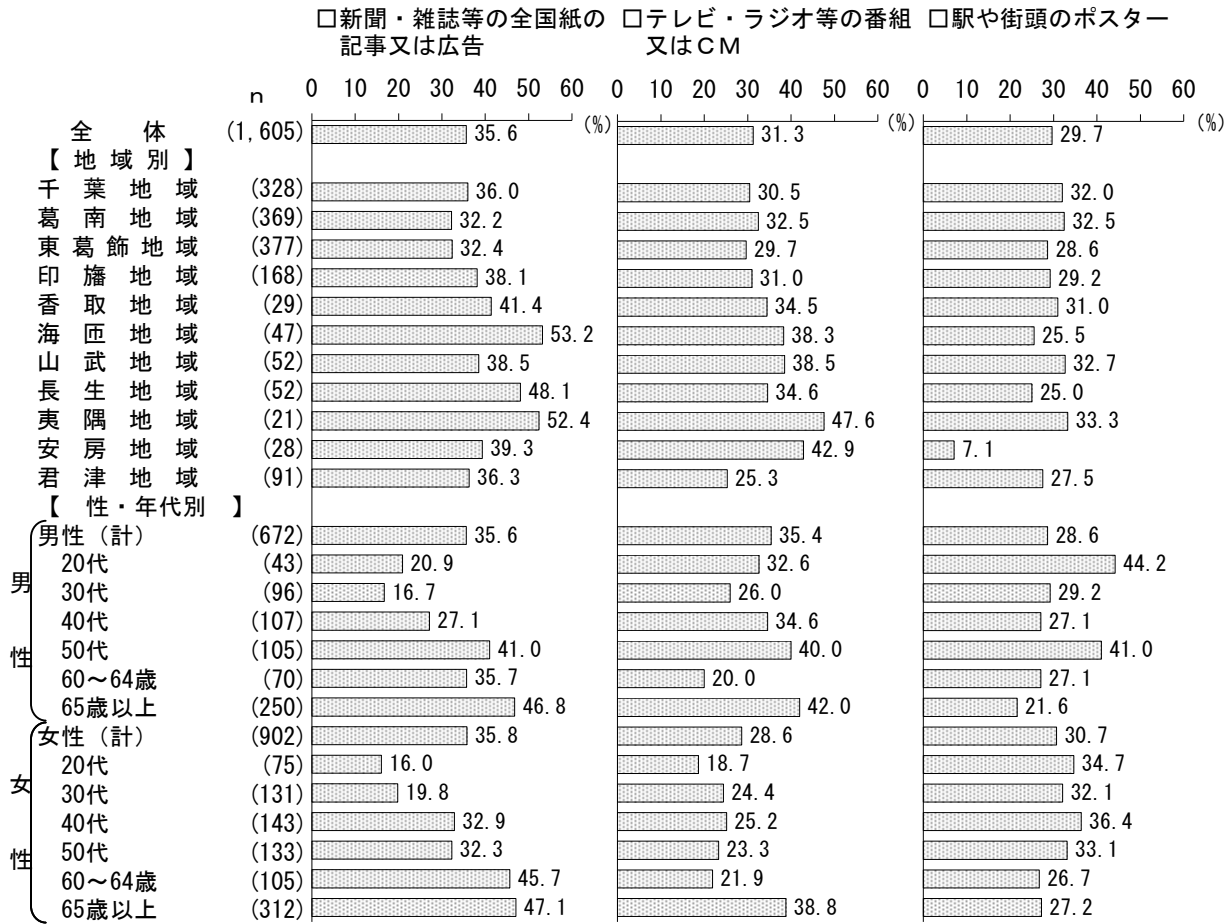
【地域別】

地域別にみると、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」は“海匠地域”(53.2%)が5割台半ば、“夷隅地域”(52.4%)が5割を超えて他の地域に比べて高くなっている。「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」は“夷隅地域”(47.6%)が約5割、“安房地域”(42.9%)が4割を超えて高くなっている。(図表8-16)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」は女性の65歳以上(47.1%)、男性の65歳以上(46.8%)、女性の60～64歳(45.7%)が4割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「駅や街頭のポスター」は男性の20代(44.2%)が4割台半ば、男性の50代(41.0%)が4割を超えて高くなっている。(図表8-16)

<図表8-16> 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況／地域別、性・年代別（上位6項目）

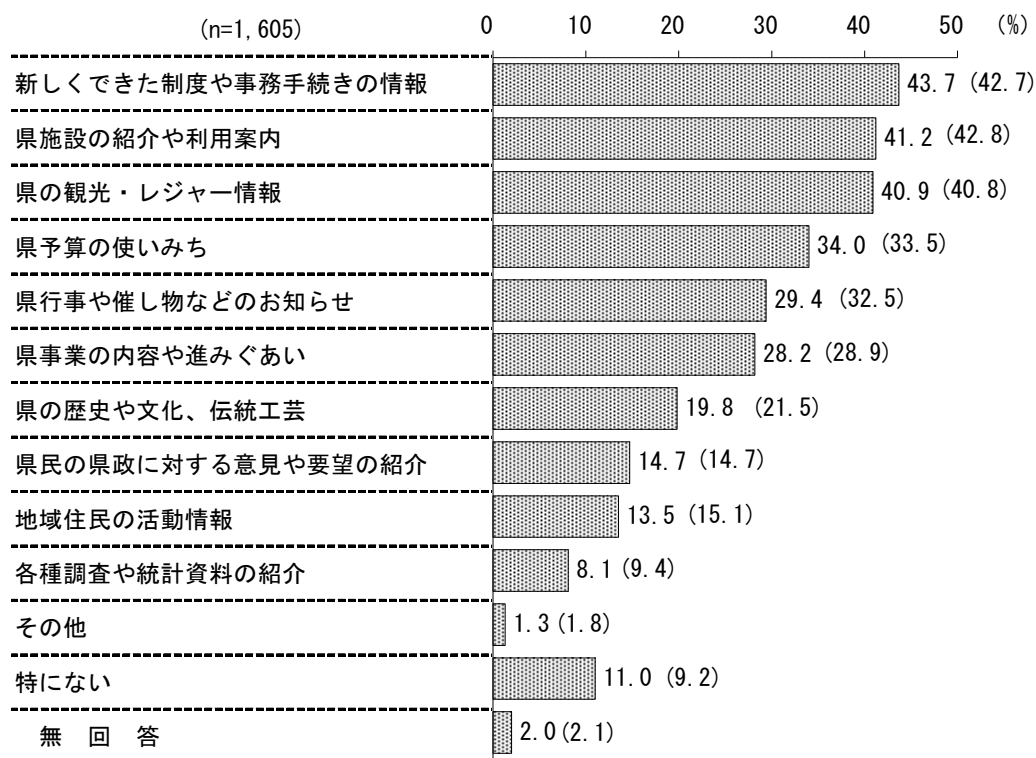


(7) 県の知りたい情報

◇「新しくできた制度や事務手続きの情報」が4割台半ば

問41 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。(〇はいくつでも)

<図表8-17>県の知りたい情報(複数回答)



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

県の知りたい情報を聞いたところ、「新しくできた制度や事務手続きの情報」(43.7%)が4割台半ばで最も高くなっている。以下、「県施設の紹介や利用案内」(41.2%)、「県の観光・レジャー情報」(40.9%)と続いている。(図表8-17)

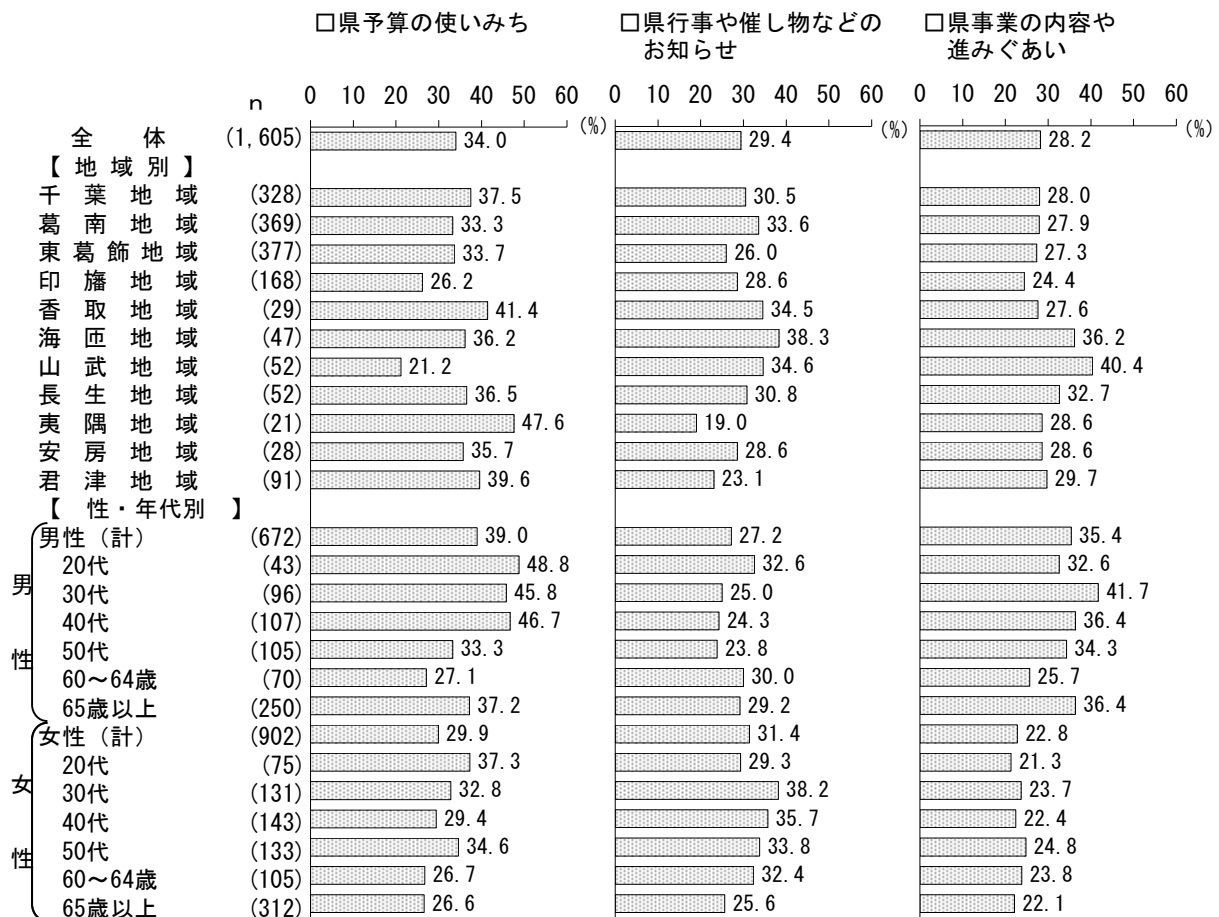
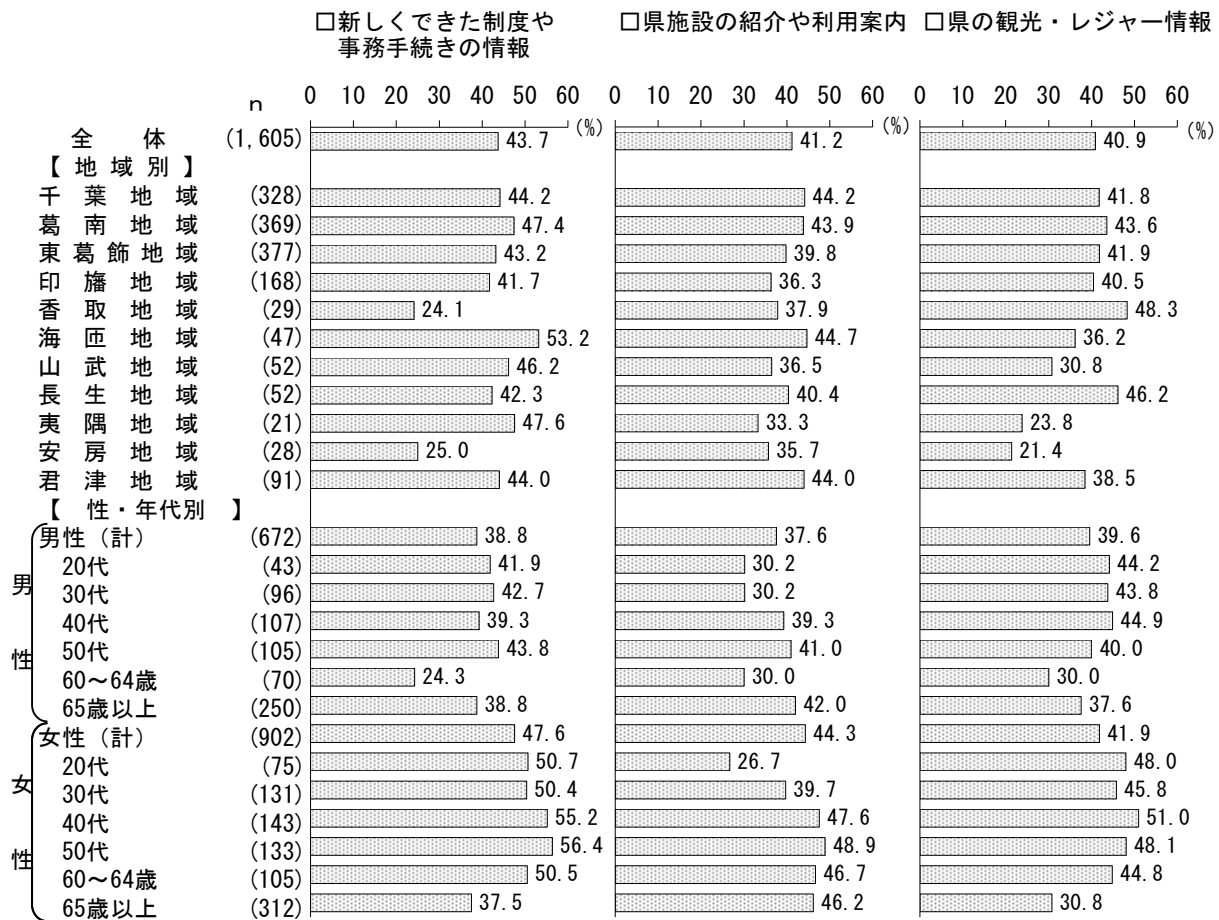
【地域別】

地域別にみると、「新しくできた制度や事務手続きの情報」は、“海匝地域”(53.2%)が5割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。「県施設の紹介や利用案内」は“海匝地域”(44.7%)、“千葉地域”(44.2%)、“君津地域”(44.0%)、“葛南地域”(43.9%)が4割台半ばと高くなっている。(図表8-18)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「新しくできた制度や事務手続きの情報」は女性の50代(56.4%)、女性の40代(55.2%)が5割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「県施設の紹介や利用案内」は女性の50代(48.9%)、女性の40代(47.6%)が約5割、女性の60~64歳(46.7%)、女性の65歳以上(46.2%)が4割台半ばと高くなっている。(図表8-18)

<図表8-18> 県の知りたい情報／地域別、性・年代別（上位6項目）

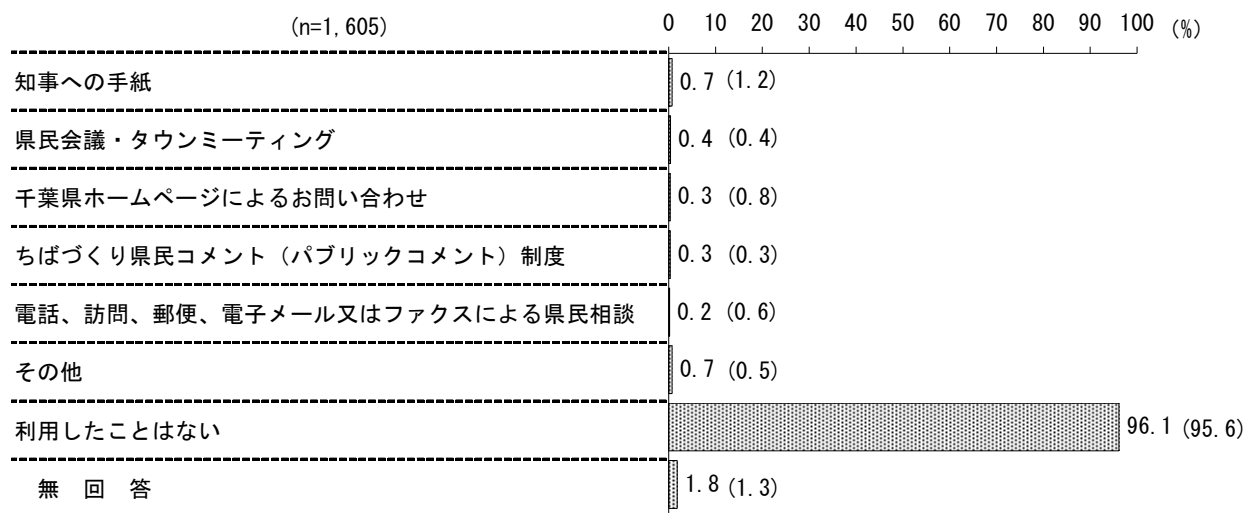


(8) 知事への手紙などで意見を述べた経験

◇「利用したことはない」が9割台半ば

問42 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙などで今までに意見を述べたことがありますか。(〇はいくつでも)

<図表8-19>知事への手紙などで意見を述べた経験(複数回答)



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n=1,556

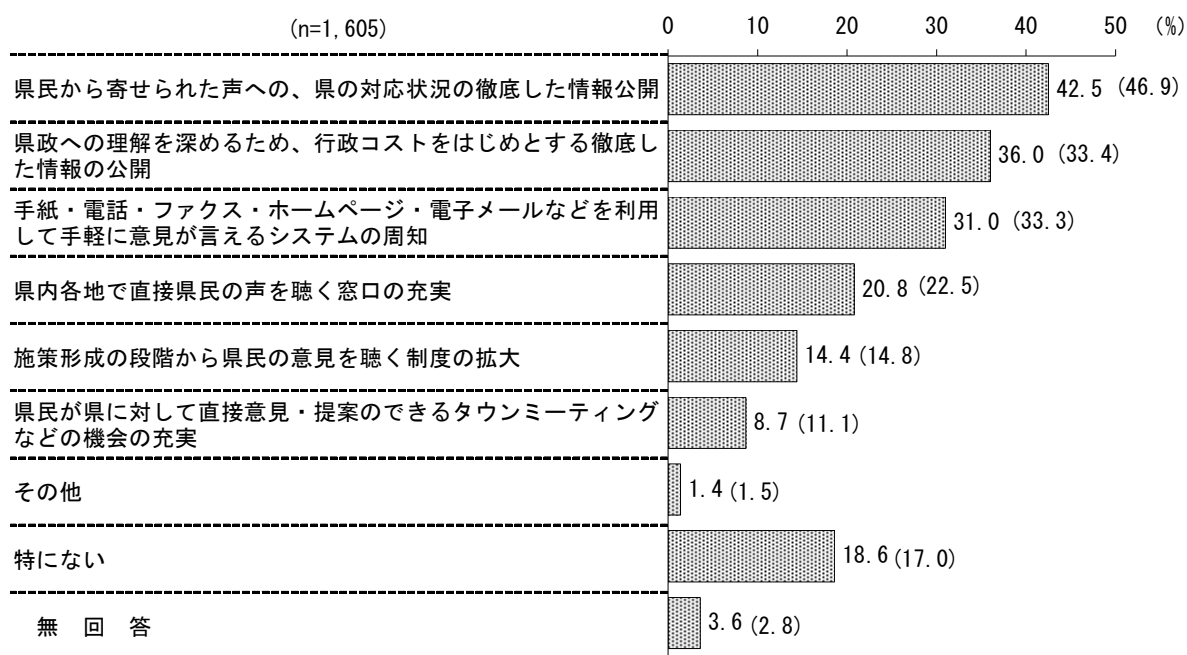
知事への手紙などで意見を述べた経験をいくつでも選んでもらったところ、「利用したことはない」(96.1%)が9割台半ばとなっている。利用したことのあるものでは、「知事への手紙」(0.7%)、「県民会議・タウンミーティング」(0.4%)となっている。(図表8-19)

(9) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと

◇「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」が4割を超える

問43 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

<図表8-20> 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと (複数回答)



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

県政に対する意見を述べやすくするために必要なことを3つまで選んでもらったところ、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」(42.5%)が4割を超えて最も高くなっている。以下、「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」(36.0%)、「手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」(31.0%)などが続いている。(図表8-20)

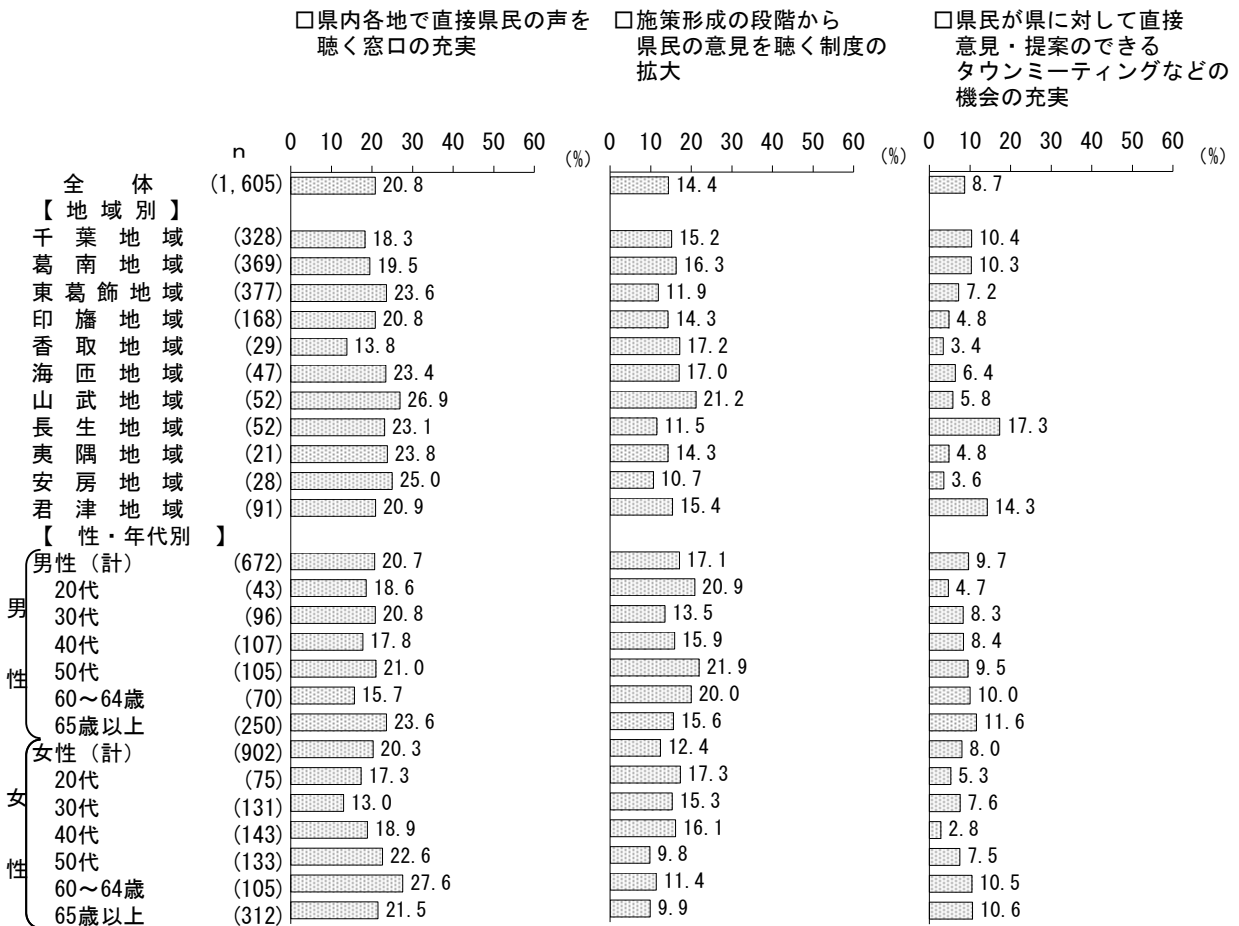
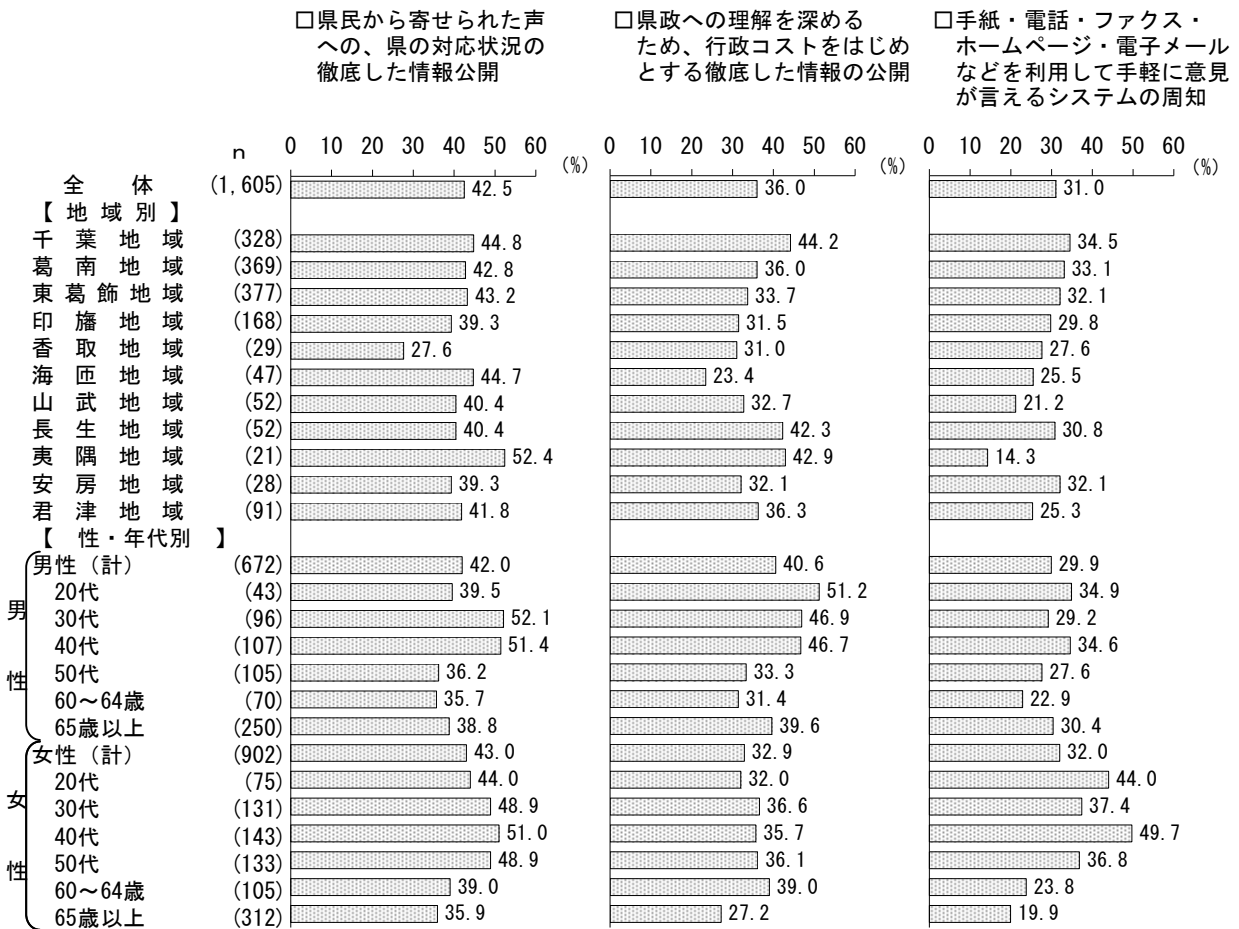
【地域別】

地域別にみると、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は“夷隅地域”(52.4%)が他の地域と比べて高くなっている。「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」は“千葉地域”(44.2%)が4割台半ば、“夷隅地域”(42.9%)、“長生地域”(42.3%)が4割を超えて高くなっている。(図表8-21)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は男性の30代(52.1%)、男性の40代(51.4%)、女性の40代(51.0%)が5割を超えて他の年代に比べ高くなっている。(図表8-21)

<図表8-21> 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと／地域別、性・年代別（上位6項目）

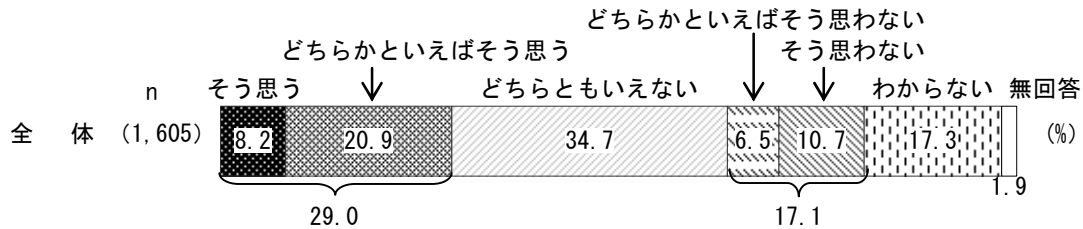


(10) 県政への意見の反映

◇『そう思う』は約3割

問44 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。(○は1つ)

<図表8-22> 県政への意見の反映



自分の意見を県政に反映させたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(8.2%)と「どちらかといえばそう思う」(20.9%)を合わせた『そう思う』(29.0%)は約3割となっている。一方、「そう思わない」(10.7%)と「どちらかといえばそう思わない」(6.5%)を合わせた『そう思わない』(17.1%)は約2割となっている。(図表8-22)

〔参考〕平成24度・平成25度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査 (1,550)	33.5	14.9	51.7
平成25年度調査 (1,556)	32.7	16.5	50.8
平成26年度調査 (1,605)	29.0	17.1	53.9

【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“千葉地域”(32.6%)、“君津地域”(31.9%)が3割を超え、“東葛飾地域”(30.8%)が3割、“印旛地域”(29.8%)“葛南地域”(29.3%)が約3割と他の地域に比べて高くなっている。(図表8-23)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は、男性の20代(41.9%)が4割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表8-23)

<図表8-23> 県政への意見の反映／地域別、性・年代別

